

A black and white portrait of Evgeny Kissin, a pianist, looking directly at the camera with a serious expression. He is wearing a dark suit jacket over a dark shirt. The background is dark, making his face and hands the focal point.

Evgeny Kissin

Piano Recital

エフゲニー・キーシン ピアノ・リサイタル

2024年12月2日(月) 19:00開演 サントリーホール
7:00p.m., Monday, December 2, 2024 at Suntory Hall

2024年12月10日(火) 19:00開演 サントリーホール
7:00p.m., Tuesday, December 10, 2024 at Suntory Hall

主催: ジャパン・アーツ 協力: ユニバーサル ミュージック

©Mascha Sergievskaia



文化庁 劇場・音楽堂等における
子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

Program

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第27番 ホ短調 Op.90

L.v. Beethoven: Piano Sonata No.27 in E minor, Op.90

第1楽章:生き生きと、そして一貫して感情と表情をもって

1st Mov.: Mit Lebhaftigkeit und durchaus mit Empfindung und Ausdruck

第2楽章:速すぎないように、そして十分に歌うように

2nd Mov.: Nicht zu geschwind und sehr singbar vorgetragen

ショパン:ノクターン第14番 嬰へ短調 Op.48-2

F. Chopin: Nocturne No.14 in F-sharp minor, Op.48-2

ショパン:幻想曲 へ短調 Op.49

F. Chopin: Fantaisie in F minor, Op.49

ブラームス:4つのバラード Op.10

J. Brahms: 4 Ballades Op.10

第1曲:「エドワード」:アンダンテ

No.1: "Edward": Andante

第2曲:アンダンテ

No.2: Andante

第3曲:「間奏曲」:アレグロ

No.3: "Intermezzo": Allegro

第4曲:アンダンテ・コン・モート

No.4: Andante con moto

プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第2番 ニ短調 Op.14

S. Prokofiev: Piano Sonata No.2 in D minor, Op.14

第1楽章:アレグロ・マ・ノン・トロッポ

1st Mov.: Allegro ma non troppo

第2楽章:スケルツォ:アレグロ・マルカート

2nd Mov.: Scherzo: Allegro marcato

第3楽章:アンダンテ

3rd Mov.: Andante

第4楽章:ヴィヴァーチェ

4th Mov.: Vivace

2024年日本公演スケジュール

11月24日(日)【大阪】 ザ・シンフォニーホール 主催:ABCテレビ

11月28日(木)【名古屋】 愛知県芸術劇場コンサートホール 主催:CBCテレビ

12月2日(月)【東京】 サントリーホール 主催:ジャパン・アーツ

12月7日(土)【北九州】 北九州ソレイユホール 主催:(公財)北九州市芸術文化振興財団

12月10日(火)【東京】 サントリーホール 主催:ジャパン・アーツ

12月14日(土)【横浜】 横浜みなとみらいホール 主催:神奈川芸術協会

Evgeny Kissin

エフゲニー・キーシン(ピアノ)

Evgeny Kissin, Piano

キーシンは、その音楽性、深く詩的な解釈、類い稀な演奏技術により、当代の、そしておそらく歴代のピアニストの中でも、とりわけ才能に恵まれた者のみに相応しい尊敬と称賛を得てきた。彼は世界中で人気を博しており、これまでに、アバド、アッシュケナージ、バレンボイム、ドホナーニ、ジュリーニ、レヴァイン、マゼール、ムーティ、小澤征爾といった世界的指揮者やオーケストラと共演している。

1971年10月モスクワ生まれ。2歳の頃、耳で聴いた音楽の演奏や即興的な演奏を始めた。6歳でモスクワのグネーシン音楽学校に入り、彼の唯一の教師であるアンナ・パヴロヴナ・カントールに師事。10歳で協奏曲デビューを果たし、その1年後には初のソロ・リサイタルをモスクワで行った。1984年3月、12歳のときに、キタエンコ指揮モスクワ・フィルと共に、モスクワ音楽院大ホールでショパンの2曲のピアノ協奏曲を演奏し、世界的に注目されるようになった。

彼が国外に初めて登場したのは1985年の東ヨーロッパであり、翌年には初の日本ツアーを行った。1988年12月には、カラヤン指揮ベルリン・フィルのジルベスター・コンサートで演奏し、1990年ロンドンのBBCプロムスに初出演。同年、北アメリカでもデビューし、メータ指揮ニューヨーク・フィルとの共演や、カーネギー・ホールの百周年シーズンの開幕を飾る見事なデビュー・リサイタルを行った。

世界中から音楽賞や記念賞が次々と与えられており、1986年の最高の演奏として(これが日本での最初の演奏だった)、大阪のザ・シンフォニーホールのクリスタル賞、1991年にはシエナのキジアーナ音楽アカデミーから年間最優秀音楽賞を受賞。1995年には「ミュージカル・アメリカ」の器楽賞を最年少で受賞した。1997年、ロシア文化への傑出した貢献に対して、名誉ある凱旋賞(Triumph Award)が与えられた。これは、ロシアで与えられる最高の文化的栄誉のひとつであり、ここでも彼は史上最年少の受賞者となった。その他にも、マンハッタン音楽大学から名誉音楽博士号、ロシアの音楽界における最高の栄誉の一つであるショスタコーヴィチ賞、英国王立音楽院の名誉会員資格、そして直近では、香港大学から名誉博士号(人文科学系)を授与されている。

キーシンの録音は数々の賞を受賞しており、世界最高の演奏家たちによる傑作録音のライブラリーに大きく貢献している。2002年にエコー・クラシック賞(年間最優秀ソリスト賞)、2006年と2010年にはグラミー賞(最優秀器楽ソリスト賞)、その他にもオランダのエディソン・クラシック賞、フランスのディアパゾン・ドール賞、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク賞グランプリなどを受賞している。



■ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第27番 ホ短調 Op.90 ■

ドイツのボンに生まれ、ウィーンで世を去ったルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)のピアノ曲のなかで、作品番号のついたソナタについては32曲が残されている。ここで彼は、多彩な技法を盛りこむと共に、各楽章の形式を充実かつ拡大させ、その構成と内容に新しい境地を切り開いた。

前作の第26番から4年後、1814年に書きあげられたソナタ第27番は、モーリッツ・フォン・リヒノフスキー伯爵に献呈された。2楽章構成によるソナタであり、両楽章に、ドイツ語による綿密な発想標語が見られる。従来のイタリア語による簡潔なものではなく、母国語による、やや長い表現によって、ベートーヴェンは各楽章のイメージをより明確に表現したかったのであろう。

第1楽章:「生き生きと、そして一貫して感情と表情をもって」。ホ短調、ソナタ形式。互いに対照的な楽想が、綿密に組み合わせられている。

第2楽章:「速すぎないように、そして十分に歌うように」。ホ長調、ロンド形式。歌にあふれた抒情的な楽章である。

■ショパン:ノクターン第14番 嬰へ短調 Op.48-2 ■

ポーランドのワルシャワ近郊に生まれ、39年間という短い生涯の後半を主にフランスで過ごしたフレデリック・ショパン(1810-49)の作品は、大半がピアノ曲だった。ノクターン(夜想曲)については、21曲ほど残されている。ショパンらしく繊細優美で、ロマンティックなピアノニズムにあふれたこれらの作品は、従来のノクターンの表現性を大いに高めたが、その歌謡的な性格は、ロマン派のピアノ曲における特色のひとつにつながる。即ち、展開部を伴うソナタのような規模は求めず、旋律美が優先となるのである。

Op.48としてある2曲は、1841年に作曲され、弟子のロール・デュプレ嬢に献呈されたノクターンである。今回演奏されるOp.48-2(アンダンティーノ、嬰へ短調)では、序奏に続いて、息の長い旋律が歌われる。中間部ではリズムカルな動きを見せるが、全体としては穏やかな雰囲気支配されている。

■ショパン:幻想曲 へ短調 Op.49 ■

ショパンの数々の傑作のなかで、「幻想曲」と名づけられた作品は、今回演奏されるへ短調のOp.49ただ1曲である。彼が恋人のジョルジュ・サンドと過ごした幸福な時期、1841年に作曲され、カトリーヌ・ドゥ・スーズ伯爵夫人に献呈されている。曲は、行進曲風の序奏に始まったのち、幻想曲=ファンタジーの名のとおり、多彩な楽想が、自由で幻想的な展開を見せるが、全体はソナタ形式風の構成でまとめられ、見事な統一感を印象づける。そして最後は、変イ長調のコーダによって、華やかに締めくくられる。

■ブラームス:4つのバラード Op.10 ■

ドイツ・ロマン派の作曲家ヨハネス・ブラームス(1833-97)は、20歳までの間に3曲のピアノ・ソナタを完成させたが、翌年以後の彼のピアノ曲にソナタは現れず、変奏曲や小品集に集中している。「4つのバラード」は、「ピアノ・ソナタ第3番」完成の翌年、1854年にデュッセルドルフで作曲され、ユリウス・グリムという音楽家に献呈された。初演については、1860年にクララ・シューマンが、このなかの2曲をウィーンで披露し、他の2曲は、1867年に同地でブラームス自身が初演したという。4曲はそれぞれ、3部形式による簡素な小品だが、ブラームス初期のピアノ曲としては、個性が顕著に現れた傑作とされており、特有の渋い味わいを漂わせている。全4曲の内訳は、次のとおりである。

第1曲「エドワード」:アンダンテ、ニ短調。詩人ヨハン・ゴットフリート・ヘルダーの民謡集『諸民族の声』のなかの、スコットランドのバラード『エドワード』に基づいて作曲されていることから、俗に「エドワード」と呼ばれる。

第2曲:アンダンテ、ニ長調。柔らかな響きや、夢想的な雰囲気印象づける一方、中間部はドラマティックである。

第3曲「間奏曲」:アレグロ、ロ短調。暗い色彩と共に、スケルツォ風の諧謔的なリズムが特徴的である。

第4曲:アンダンテ・コン・モート、ロ長調。シューマンの作風を思わせる主部は、流れるようなロマンティズムに包まれているが、中間部には、ブラームスらしい渋さと暗さが漂う。

■プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第2番 ニ短調 Op.14 ■

ピアノの名手でもあったロシアの作曲家セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)は、ドビュッシーやスクリャービンと並んで、20世紀の最も重要なピアノ曲作曲家の一人であり、全作品のうち3分の1ほどは、ピアノ音楽で占められている。そのなかで、ピアノ・ソナタについては9曲ある。これらが創作された時期は、学生時代から、第5番が改訂された最晩年まで及んでおり、作曲家としてのほぼ全生涯にわたってピアノ・ソナタが書き綴られていったことが明らかである。そして、ここにはプロコフィエフの作風の変遷と共に、ピアノに対して表現の可能性を鋭く追求したプロセスが示されている。その独特の語法、また、指の動きやリズムを含めて、ピアノ演奏技法の可能性を広げようとする試みは、彼自身のピアニストとしての天性に由来したものと言えるだろう。

1912年に完成された第2番は、形式上は古典的な4楽章制をとるが、ピアニスティックで鋭いタッチや、斬新な和声などが盛りこまれており、初期のソナタのなかではプロコフィエフの個性が特に強く表れた1曲と言えよう。なお、音楽院時代の友人M.A.シュミットホフに献呈されたこの作品は、1914年2月にモスクワで、作曲家自身のピアノによって初演された。

第1楽章:アレグロ・マ・ノン・トロポ。ニ短調、ソナタ形式。

第2楽章:スケルツォ:アレグロ・マルカート。イ短調、3部形式。

第3楽章:アンダンテ。嬰ト短調、3部形式。

第4楽章:ヴィヴァーチェ。ニ短調、自由なロンド形式。

【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。
寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。

「人のいるところには夢がある」創業49年来のジャパン・アーツの理念です。

どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、
人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに
掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今年度も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



アーティストサポートの詳細は
こちらをご覧ください。

2024年度ご支援いただいた皆様

<2024年度 年間サポート>

朝妻 幸雄 F.A. 井上 豊 岩村 和央 上原 啓子 上村 憲裕 M.U. K.O. S.O. 小田島 容子
片山 由美子 H.K. K.K. 栗田 美知子 新貝 康司 M.S. M.T. R.T. A.D. 田中 治郎 F.T.
トゥルーラブ 真智子 トゥルーラブ 真凜 K.N. E.N. 兒子 弥生 S.N. 長谷川 智子 T.H. 樋口 美枝子
M.H. 平山 美由紀 藤野 盾臣 松尾 芳樹 真野 美千代 三木谷 晴子 J.M. M.M.

株式会社青林堂 株式会社セキド 三井住友カード株式会社

株式会社ソーシャルキャピタルマネジメント 株式会社ロジックアンドエモーション

ライフブラン株式会社 Heart of the Earth株式会社 きづきアセット株式会社 (匿名希望 26名)

<2024年度 福岡洸太郎に「花を贈ろう!」>

あかほり みお 厚見 有紀 F.A. J.A. 池田 惇子 石黒 裕康 石崎 典子 井住 智子 R.I. A.I.
岩塚 究 K.U. M.E. 猿渡 かおり M.E. 大畑 篤子 大原 志津子 大原 みずほ 小山田 美代子
カッキー 柿 信子 柏 香織 T.K. 川島 理絵 駒場 雅世 A.K. 桜猫 桜井 桂子 佐々木 珠乃 佐野 孝枝
A.S. N.S. 塩崎 勢子 W.S. A.S. 新里 真美子 進導 幸太郎 鈴木 志保里 N.S. 早田 利江 高島 秀子
鷹巣 綾子 高田 恵子 N.T. 武田 眞子 武田 佳美 辻田 奈津 土屋 麻起 長江 雅子 中嶋 妙子 Y.N.
中島 葉子 S.N. 中村 祥子 A.N. K.N. 野口 由美 H.N. 林 順子 平井 聖香 平山 美由紀 深堀 悦代
S.F. 伏見 由加 A.H. R.M. K.M. 三浦 祐子 三浦 洋子 村田 恵美 村山 幸恵 山口 恵美
依田 晴美 (匿名希望 24名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

井口 和美 K.K. Rimiko M.H. M.M. 真野 美千代 水足 久美子 水足 秀一郎 ロロコミ・リリコミ
(匿名希望 12名)

<2024年 ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

井口 和美 T.O. K.K. Rimiko M.T. 平山 美由紀 細沼 康子 M.M. 真野 美千代 村瀬 治男
ロロコミ・リリコミ (匿名希望 11名)

2024年11月17日現在 敬称略